QL-700で値札を作ろう（Airレジ）

同梱されているソフトウェア「P-touch Editor 5.0」を使って、さっそくラベルプリンターでラベルを印刷してみましょう。

1．ラベルプリンターのセットアップ

本製品を使用される前に、付属品が揃っているか確認の上、本機に電源コードを接続し、コンセントに電源プラグを差し込み、付属の長尺紙テープを本体にセットします。

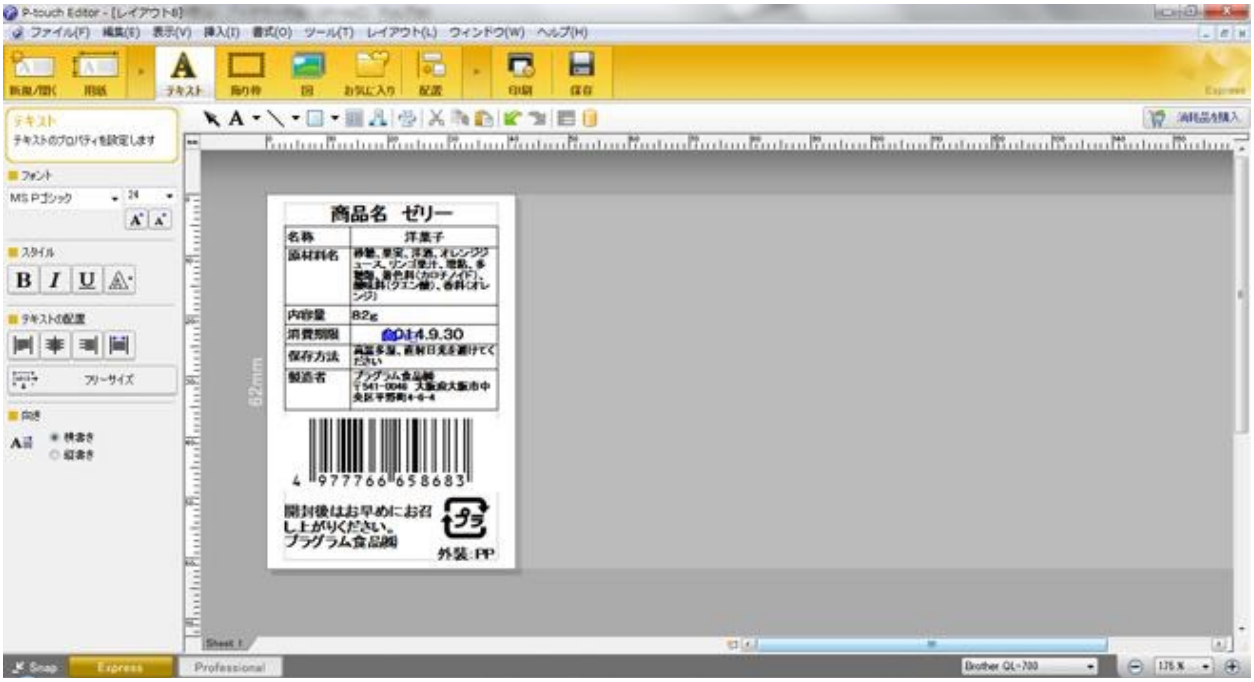
2．プリンタードライバーとソフトウェアのインストール

（USBケーブルはパソコンと接続しない状態で）プリンター本体の電源を入れます。
※「Editor Lite」ランプがONの状態の場合は、「Editor Lite」ボタンを長押しし、OFFにしてください。

パソコン（Windows）のCD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入し、画面に表示される指示に従ってプリンタードライバーとソフトウェア「P-touch Editor 5.0」をインストールします。

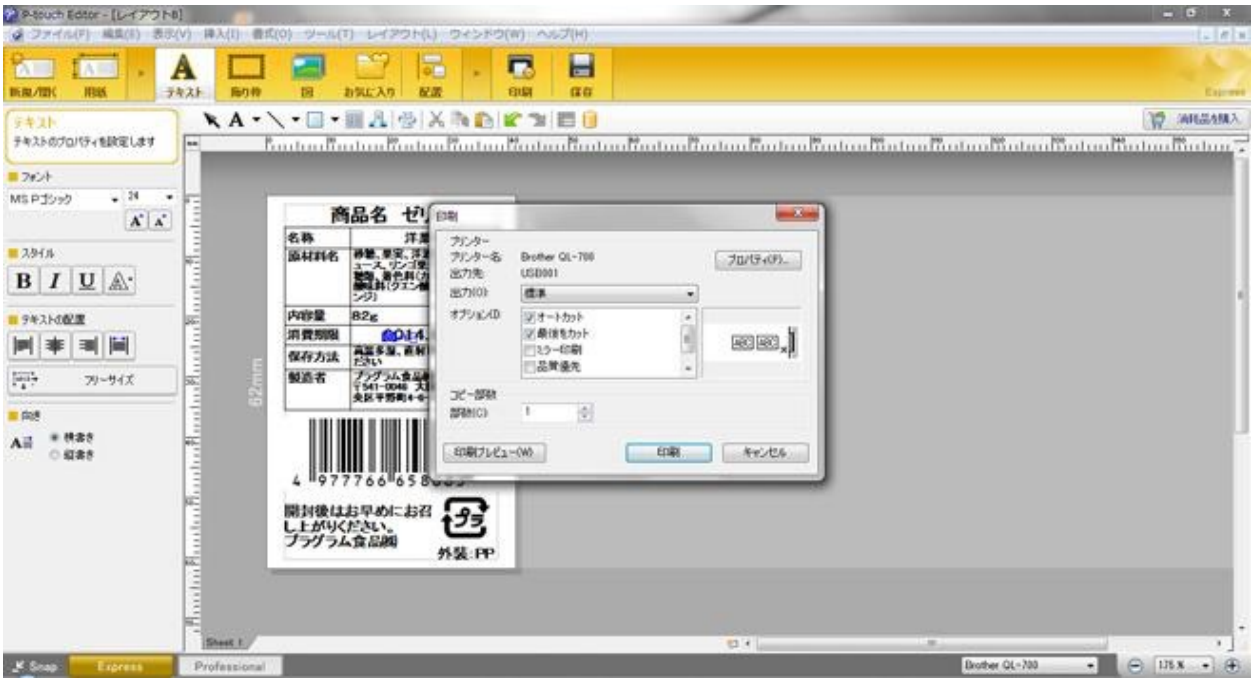
3．ラベルを作成する

インストールした「P-touch Editor 5.0」を起動し、「新規作成」から作成したいラベルのタイプを選択します。
今回は、付属の62mm長尺紙テープに合ったサイズのテンプレートをチョイスしました。



商品名や名称、原材料名など必要に応じて編集します。バーコードを印刷する場合は、バーコードの部分を選択し、右クリックでプロパティを選択すると、バーコードのデータや規格などを変更することが出来ます。（バーコードの規格は、情報密度の高い ”CODE128” が一般的に多く採用されています。）

4．ラベルを印刷する



レイアウトが出来たら画面上部にある「印刷」からラベルを印刷します。

お店でよく見る〝あのラベル〟を簡単に作ることが出来ました。

次は、タブレットPOSシステム「AIRレジ」から、商品データCSVを取り出してラベルを印刷してみます。

■AIRレジ

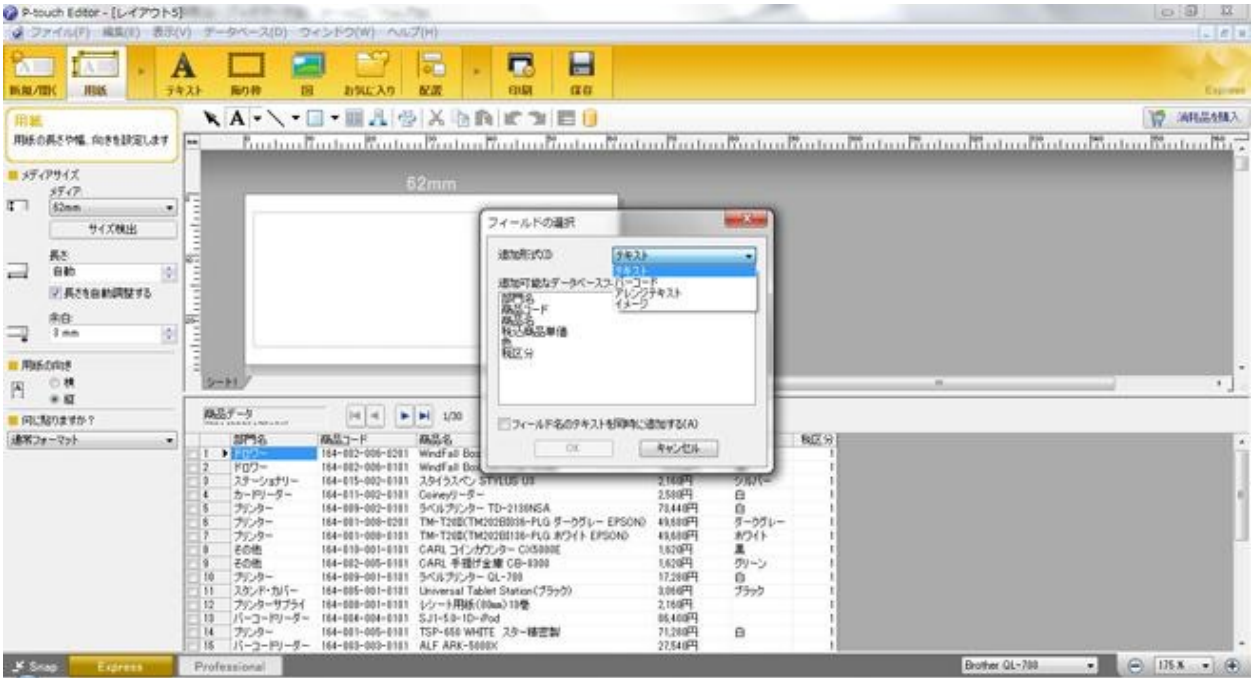
1．商品リスト（CSV）を作成する

管理画面のメインメニューの「店舗基本情報」から、「バーコード印刷」を選択します。

“1. CSVファイルのダウンロード”内の、「CSVファイルのダウンロード」を押すと、商品データ（CSV）をダウンロード出来ますので、PCに保存してください。

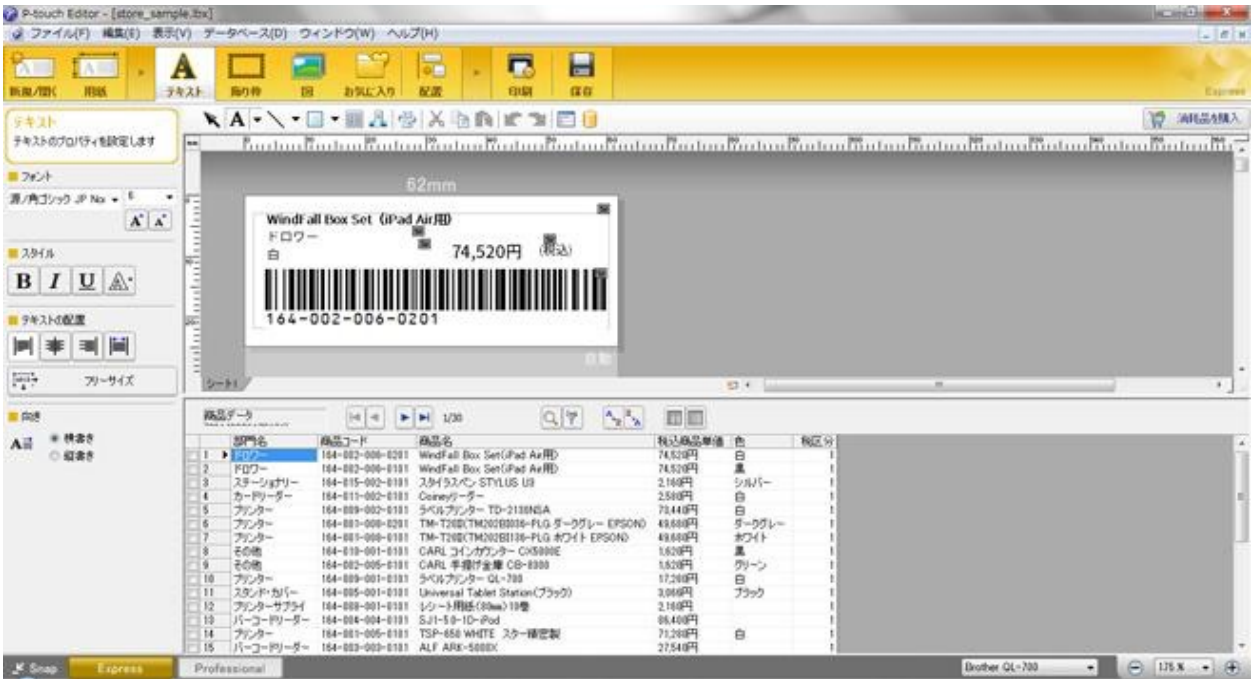
2．ラベルを作成する

「P-touch Editor 5.0」を起動し、「新規作成」から、「新しいレイアウト」を選択します。
「ファイル＞データベース＞接続」を選択し、ダウンロードした商品リスト（CSV）を指定し、「次へ」を押します。



データが反映されると、表になって現れますので、表の上のどこでもいいので右クリックし、「レイアウトへフィールドを追加」を選択し、追加させたいデータと、追加形式を選びます。

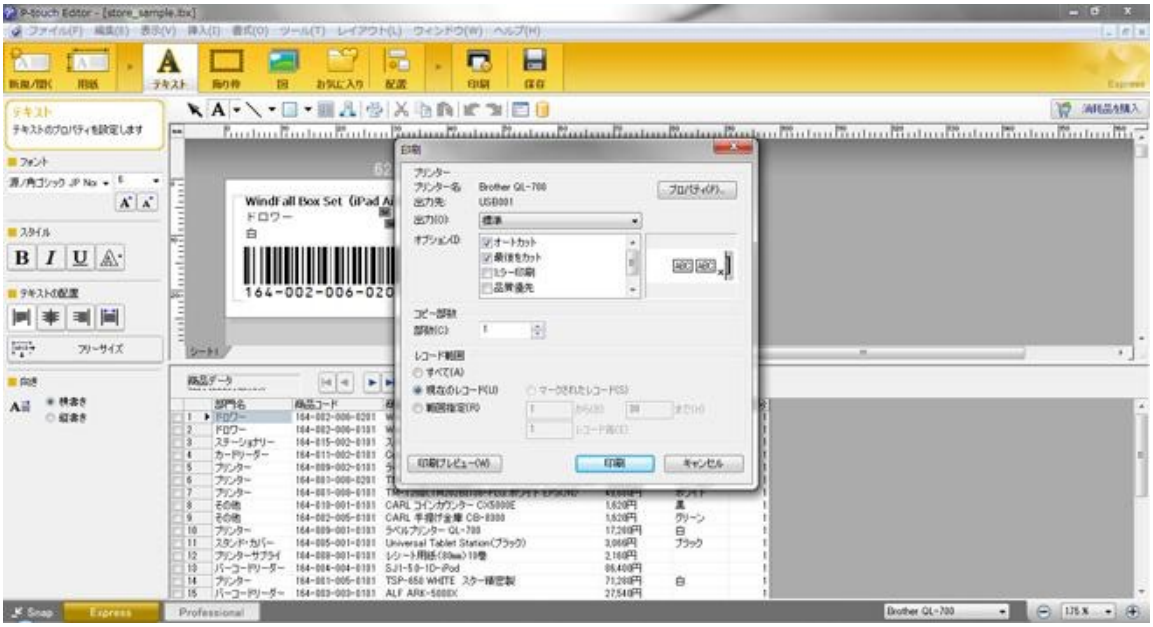
"テキスト"で選択されたデータは、そのまま文字列として表示されます。
追加形式で"バーコード"を選択すると、選択されたデータはバーコードに変換されます。



配置したデータのレイアウトを調整します。

テキストの場合は、フォントやサイズなども好みのものに変更することができます。
表にないものは、テキストボックスや、画像の挿入を用いて別途直接入力・挿入します。この方法でロゴも入れることが出来ます。

3．ラベルを印刷する



レイアウトが出来たら画面上部にある「印刷」からラベルを印刷します。

Airレジの商品データCSVからでも、お店でよく見る〝あのラベル〟を簡単に作ることが出来ました。